

# 「西宮市学校施設長寿命化計画（素案）」に対する 意見提出手続（パブリックコメント）の結果を公表します

「西宮市学校施設長寿命化計画（素案）」に対する意見提出手続（パブリックコメント）について、ご意見の概要とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので公表します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

※ いただいたご意見は、原則として要約したものを記載しています。

※ 個人・団体等への誹謗中傷など市が不適切と判断した内容や、個人等が特定される内容については、記載していません。

## 1. 意見募集結果概要

【意見募集期間】 平成30年11月9日（金）～平成30年12月10日（月）

【意見提出者数】 3名

【意見提出件数】 6件

### 《回答分類別》

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容です	いただいたご意見の内容は既に素案に盛り込まれています。	3
②素案を修正します	いただいたご意見をもとに素案を修正します。	0
③今後の参考・検討とします	素案の修正はしませんが、いただいたご意見は今後の参考（検討）にします。	2
④素案のとおりとします	ご意見の反映や対応が困難、または、市の考え方と方向性が合致しない内容です。	0
⑤その他	素案の内容と直接関係のないご意見、感想等（①～④に該当しないもの）。	1
	合計	6

問合せ先：西宮市教育委員会 学校管理課

TEL 0798-35-3843

## 2. ご意見の概要及び市の考え方について

意見提出者	意見番号	ご意見の概要	市の考え方	回答分類
A	1	計画はあくまでも予定であり、実施を固定的に考えるのは「好き」ではありません。誰しものが恒久の責任を負うのではなく、せいぜい10年ほどの期間でしかないと。事故、自然災害など経験を持っている西宮市であればよく理解しているはずです。	【素案に記載済 (P.5、P.32)】 計画期間については、2019年度 (H31年度) から2058年度 (H70年度) までの40年間の計画としておりますが、財政状況の動向や社会状況、さらに国の補助制度の変更、児童・生徒数の推移といった教育環境を取り巻く変化に柔軟に対応し、より実効性のある計画とするため、上位計画である西宮市総合計画と同様、5年ごとに計画の見直しを行うこととしています。	①
	2	少なくとも運営する側として、中高・小中一貫校などを想定しての囲い込みを考える時期です。誰でも平等にも大事ですが、人の移動や定着率等考慮した方向性を捉えてほしい。西宮市民であった子供が人の移動をなげいていました。	【その他】 本計画は、本市における学校施設の長寿命化の考え方について定めるものであり、ご意見としていただいた中高・小中一貫校といった学校運営や人口の定着率等個別の事象に関する取扱いを定めることを目的としておりません。 将来的な人口減少を見据えた施設整備については、本計画により取り組んでまいります。	⑤
B	3	学校建設に於いて長寿命化は当然至極のことで、今更改めて検討課題にすることもない事です。学校とは児童・生徒達が学業に励むだけではなく、自然災害が発生した場合には、公共建物と同様に地域住民の避難所として施設が使用されることにもなっています。 こうした別の一面を有する学校が建設計画の時点から、単に学校としての建設計画だけで企画段階から設計段階、建築段階と経緯する中で、一般的な建築物の計画等だけの検討が加えられるのは大きな間違いであり、西宮市全体として再度考え直しが必要と思われます。	【素案に記載済 (P.21)】 学校は、災害時の避難施設としての側面を合わせ持っています。改築にあたっては、学校の機能と同時に防災機能の充実を基本方針として掲げ、市の関連部局と協議し防災備蓄倉庫やマンホールトイレの整備を行います。加えて、津波避難ビルに指定されている学校においては、屋上や上層階への避難の確保を考慮し、整備を行います。	①

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他

B	4	<p>緊急事態発生時の避難所としての検討までも教育委員会に委ねるのは、市長や市議会も責任を回避していることであり、今回の表題のような計画は関係部門全体での討議が必要であり単なる建築物だけの予算化だけではない筈でしょう。</p> <p>『学校建設』は非常に奥深い意味を持ち、安全・安心を求める市民のために過般来発生している自然災害に対する対応を行政部門に示された試練でもあります。</p>	<p><b>【素案に記載済 (P.4、P.32)】</b></p> <p>本計画は、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「西宮市総合管理計画」の基本方針を踏まえて、庁内関係部局による学校施設長寿命化検討委員会で検討し、まとめたものです。</p> <p>策定につきましては、学校施設を所管する教育委員会が中心となっていて行っていますが、他の公共施設との複合化などを検討する場合は関連部署と一致協力して計画を進めていきます。</p> <p>なお、本市では災害対策法に基づく防災会議において、避難所等の検討についても関係部署全体で議論を行っております。</p>	①
	5	<p>昨今は建設資材に於いて、長寿命化を図る素材の開発は目を見張るものがあり、行政当局が腹をくくればいつでもできる事業と云い得ます。</p> <p>国の負担をあてにしているからできないのであり、公務員の得意は『出来ない理由』を探すのは最大の得意技と言われますが、『出来る方法』を探って最良の方法を検討していただきたいと思います。</p>	<p><b>【今後の参考・検討】</b></p> <p>現在の厳しい財政状況の中で、施設整備に係る予算確保のため、国庫補助を活用することは重要です。また、長寿命素材を採用すると国庫補助が活用できなくなるわけではありません。</p> <p>国庫補助を活用すると同時に、施設をより長期に亘って使用でき、また費用対効果が得られる資材や機器類を使用し、耐久性の高い施設改修に努めます。</p>	③
C	6	<p>電気設備や冷暖房設備については技術革新が進んでおり、投資効率が非常に高いと思いますので、25年周期にこだわらず改修を実施し、またエコチューニング等も活用しコスト削減を図ればよいと思います。</p>	<p><b>【今後の参考・検討】</b></p> <p>電気設備や冷暖房設備などの設備機器については、定期点検などを通じて劣化状況等の確実な把握に努め、計画的な改修や更新を着実に実施します。その際には、最も適切な手法を用いるとともに、省エネルギー・省資源や維持管理の効率化、設備機器の運用改善などのコスト削減に努めてまいります。</p>	③

【回答分類】 ①素案に記載済の内容です ②素案を修正します ③今後の参考・検討とします ④素案のとおりとします ⑤その他